

第14回下関市景観賞が決定！

■下関市景観賞とは？

主催：下関市（担当部局：都市整備部都市計画課）

趣旨：下関市の良好な景観の形成に向けて、市民の景観まちづくりに対する関心の醸成や活動者・所有者・設計者などのさらなる景観意識高揚を図る目的で、毎年市民の皆様から応募頂き、受賞作品を選定しています。

部門：① 景観フォトコンテスト部門

下関市内の「私が好きな下関の景観」をテーマとした写真が対象です。

② 景観デザイン部門

下関市内にある、良好な景観を形成している建築物・工作物等が対象です。

③ 景観まちづくり活動部門

下関市内で行われている、良好な景観を形成するための活動が対象です。

応募：令和5年5月1日～7月3日まで募集した結果、計179件の応募がありました。

選定：下関市景観審議会デザイン委員会委員による審査をおこないました。



景観デザイン部門

景観賞『T-styleの杜』

【受賞者】有限会社 玉井工務店、株式会社 TAD

【所在地】稗田西町9番21号

【講評】令和4年11月に建築された、社屋棟とカフェ棟からなる施設です。カフェ棟は、一般開放されています。近隣住宅街の閑静な環境を乱さないよう配慮するとともに、中庭、坪庭、屋内緑化など、木と緑をふんだんに取り入れています。建築物に対する様々な工夫に加えて、周辺との調和に配慮しつつ、新しい景観を創ろうとしている点が評価されました。



景観賞『長府毛利邸』

【受賞者】下関市、一般財団法人下関市公営施設管理公社

【所在地】長府惣社町4番10号

【講評】明治36年、長府毛利家第14代当主・毛利元敏により完成された邸宅で、城下町長府を構成する施設の1つです。現在は、一般開放されています。武家屋敷造りの重厚な母屋と白壁に囲まれた日本庭園からなります。庭園内では、季節の花々が色を添えます。施設管理者や造園専門家などが協力し、昔からの建築物・庭園という景観を守り育てようとしている点が評価されました。



審査委員特別賞『うついブルワリー』

【受賞者】社会福祉法人内日福祉会、鈴木浩介建築設計事務所、金剛住機株式会社

【所在地】大字内日下1076番地

【講評】令和5年3月に建築された福祉作業所で、かつ、クラフトビール醸造所です。ビール瓶の茶色をモチーフとした外観は、竹林などの豊かな自然景観に映えるデザインで、田園地帯のランドマーク的な役割を目指す建築物です。原料のホップ栽培、醸造、販売までを一貫して行っています。建築物と自然景観とのバランスがとれている点が評価されました。



■今年は景観シンポジウムで表彰式を行いました。

景観フォトコンテスト部門

景観賞【受賞者】山川 孝一

景観まちづくり活動部門

景観賞【受賞者】関門海峡キャンドルナイト下関実行委員会

